

国際サービスシステム **メンテナンスニュース**

VOL.1

2000/6/30

国際サービスシステム(株)

トルコン・トランスミッションの話

最近 トルコン・トランスミッションの故障が多発しています。
3月から6月にかけて神奈川地区で7台もの車両の修理を実施しています。
いずれも**メンテナンス不良**が原因と思われます。ご承知の通り トルコン・トランスミッション故障は高額修理になります。(100万～150万)

トルコン・トランスミッション共消耗品ですが、メンテナンスのしかたでかなりの部分の故障を未然に防止できます。

その方法として **定期的にトルコン・トランスミッションのオイルを交換する事。**

このことが重要なポイントを握っている事は、いうまでもありません。

車検整備で交換しているからと、安心せずこの時期に

再度点検をしてはいかがでしょうか？

メーカーでは1年又は1200時間に一度の交換をうたっていますが高額修理になる事を考えますと、交換をお勧めいたします。

(メーカーより異なります。)

チェックポイントとして！

- 1.赤いはずのオイルが何故か黒ずんでいる。
 - 2.焼けた異臭がする。
 - 3.エンジンは吹けているのに何故か、スピードがいまいちのってこない！
 - 4.走行中滑るかんじがする。
 - 5.トルコン油音計が上昇する。
- 末期症状として、トルコンウォーニングランプが点灯する。

上記のような症状がありましたら、是非国際サービスへご相談ください。



故障して走行不能になったトランスミッション内部クラッチプレートです。

このようになる前に、まず油量・油の色・油のにおいを点検しましょう。

* 油量の点検方法

エンジンを始動し、数分おいてからトランスミッションゲージで確認するか、ディップゲージで量を確認してください。(機種によって異なります。)

油量が多いと油温が上昇する場合があります。

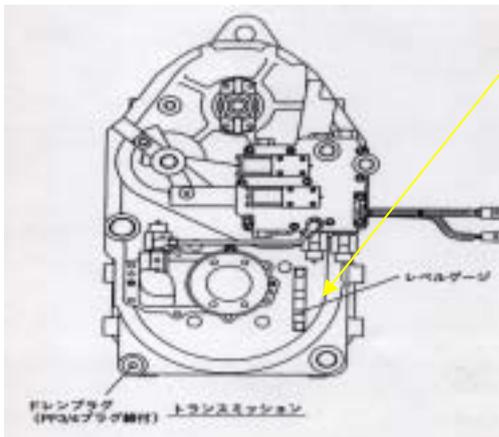
* 油の色の見方

大半の機種は赤色です。黒ずんできたら限界です。

* 油のにおい

焼けた異臭がしたら限界です。

判らないこと、不明な点がありましたら連絡してください。



国際サービスシステムは7月1日から8月31日までサマーキャンペーンでオイルが通常よりお求めやすくなっています。ご利用お待ちしております。